明治四十三年七月二十日
日曜講壇第壹篇
東京市京橋區日吉町四番地
國民新聞社編輯局
電話 長新橋 七〇番 編輯用
長新橋 三九五九番 編輯用
長新橋 二八五〇番 事務用
新橋 三八五〇番 事務用

國民新聞社原稿紙十八字詰

生活術

藤峯生

余人が今茲に述ぶるところは、部分なりと雖も、之が全體の生活上に對する關係は、恰も一二の心持のみにて、全體の生活が全く變化するが如く、從つて生活術の十中の七八は、之が實行如何に關するものと斷ずるも不可なかるべし。

又た安全とか、安樂とか云ふ處に、高尚なる理想を置くことは、吾人の生活上に對する、最も危險なる心持の一つなり。

一